

姫路市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加など気候変動及びその影響が全国各地で現れており、さらに長期にわたり拡大する恐れがある。

また、今後、地球温暖化の進行に伴い、豪雨や猛暑のリスクがさらに高まることが予測されている。

地球温暖化対策に関する国際的な枠組みである「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を2度よりも十分低く保つとともに、可能な限り1.5度に抑えるよう努力するという目標が掲げられた。そのためには、今世紀後半までに温室効果ガスの排出と吸収源による除去の均衡を達成させる必要があるとされている。

姫路市は、山、川、里、まち、海がつながり、その先には島々が連なる、まさに日本の縮図ともいえる美しい自然資源を有するとともに、穏やかな気候にも恵まれた魅力あふれる地域である。この素晴らしい地域の環境を損なうことなく持続可能な形で次世代に守り継ぐため、姫路市は2050年までに二酸化炭素の実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言する。

令和3年（2021年）2月

姫路市長 清元 秀泰

